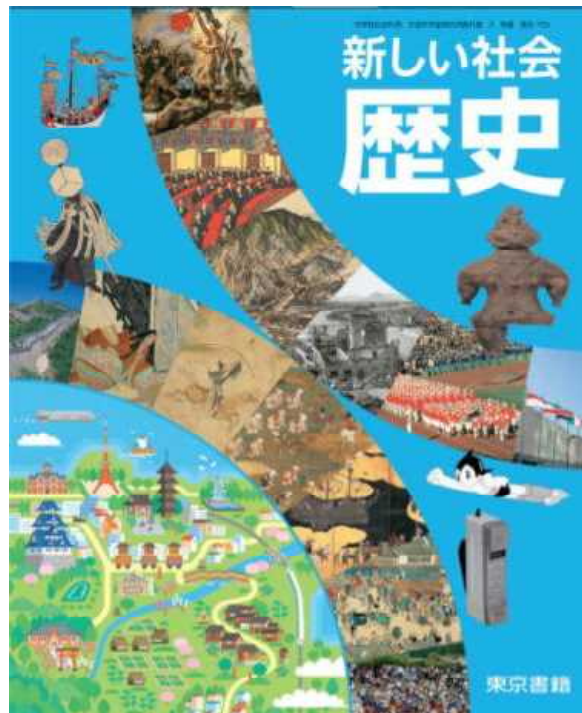


必ずわかる・きっとできる

教科書ワーク

①年

歴史・教科書(P64~P87)



名前

Nakagawa **G**akushu **K**yoshitsu



P64 10世紀になると(**武士**)が成長し、天皇の警護や犯罪の取りしまりなどを担当するようになりました。

P64 10世紀の中ごろになると、北関東で(**平将門**)が、瀬戸内海地方で(**藤原純友**)が朝廷の政治に不満を持ち、**大きな反乱**を起こしました。

P65 (**源氏**)は11世紀後半に東北地方で起きた**前九年合戦・後三年合戦**をしずめて**東日本で勢力を広げ**、(**平氏**)は12世紀前半に**西日本で勢力を広げました**。

また、東北地方では**平泉**(岩手県)を拠点に成長した(**奥州藤原氏**)は北方との交易によって栄え、(**中尊寺金色堂**)を建てました。



【中尊寺金色堂】

P66 11世紀末(**白河** 天皇)は**上皇**となっても、摂政や関白をおさえて**政治を行いました**。この政治を(**院政**)といいます。

P66 京都で1156年に(**保元** の乱)、1159年に(**平治** の乱)という2つの内乱が起こり、この戦いに勝利した(**平清盛**)は**太政大臣**の位につき、権力をふるうようになり、**兵庫(神戸市)の港**を整備し、中国の(**宋**)と**貿易を行いました**。



【平清盛】

P67 平氏の不満を持つ武士が諸国で兵をあげるなか、(**源頼朝**)は**鎌倉**を本拠地に定め、**関東を支配**した。そして弟の(**源義経**)などを派遣して、(**壇ノ浦**)【山口県】で平氏を滅ぼしました。



【源頼朝】

P68 源頼朝は1185年に、国ごとに(**守護**)、荘園や公領ごとに(**地頭**)という職を置き(**鎌倉幕府**)を開き、**武家政権**を立てました。

P68 将軍は配下の武士に領地を保護し、**新しい領地を与えた**。これを(**御恩**)という。また、武士は御家人として**将軍に忠誠**をちかいました。これを(**奉公**)といいます。

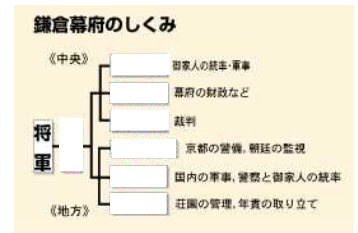
P69 **頼朝の死後**、(**北条氏**)は将軍の力を弱めて(**執権**)という地位につき**実権をにぎり**ました。

P69 鎌倉幕府の仕組み

< 地頭・政所・六波羅探題・執権・守護・問注所・侍所 >

の中から適当なものを選び、()に書きなさい。

- (^{しつげん}**執権**) (^{さむらいどころ}**侍所**) (^{まんどころ}**政所**)
 (^{もんちゆうじよ}**問注所**) (^{ろくはらたんだい}**六波羅探題**) (^{しゆご}**守護**)
 (^{じとう}**地頭**)



P69 1221年に(^{ご と ば}**後鳥羽** 上皇)が、朝廷の力を回復するために、**鎌倉幕府をたおそうとして兵をあげました**。このとき、頼朝の妻(^{まさこ}**北条政子**)が鎌倉の武士にこれに対抗するようにうったえました。**幕府はこれに勝利し**、(**後鳥羽** 上皇)を隠岐(島根県)に流しました。この事件を(^{じようきゆう}**承久の乱**)といいます。この事件をきっかけに、幕府は(**朝廷を監視する**)ために、京都に(^{ろくはらたんだい}**六波羅探題**)という役所を置きました。

P69 1232年に執権の(^{ほうじようやすとき}**北条泰時**)は、**武士のための法律**である(^{ご せいばいしきもく}**御成敗式目**)を定めました。

P70 武士は「(^{きゆうば}**弓馬の道**)」や「**武士(もののふ)の道**」と呼ばれる、武芸の訓練にはげみ、武士らしい心構えが育ってきました。

P70 地頭と領主との間でたびたび争いが起こったことから、幕府は荘園領主と地頭が土地を2つに分けて、それぞれの土地の領有権を認めました。この政策を(^{したじちゆうぶん}**下地中分**)といいます。



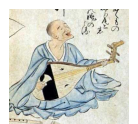
P71 鎌倉時代に農村では、同じ田畑で**米と麦を交互に作る**(^{に もうさく}**二毛作**)が行われるようになり、寺社の門前や交通の便利なところには(**定期市**)が開かれ、**物品が売買されました**。

P72 武士が台頭するなか、鎌倉時代に新しい文化が生まれました。後鳥羽上皇の命令によりつくられた**藤原定家**や**西行**などの歌がおさめられた**歌集**を(^{しん こ きん わ か しゆう}**新古今和歌集**)といいます。

P72 宋から新しい建築様式が取り入れられ、**東大寺南大門**の両わきに、(^{うんけい}**運慶**)が(^{こんごうりきしぞう}**金剛力士像**)を制作し安置されました。



P72 源平の争乱での武士の活躍をえがいた(**平家物語**)などの**軍記物**が生まれ、これらは(^{び わ ほう し}**琵琶法師**)によって語り伝えられました。**兼好法師**が随筆集の(^{つれづれぐさ}**徒然草**)で生き生きとした民衆の姿を取り上げました。



P73 (**法然**)は「**南無阿弥陀仏**」と念仏を唱えれば、**極楽浄土**に生まれ変わると説いて (**浄土** 宗)を開き、その弟子の (**親鸞**)は (**浄土真** 宗)を開きました。

P73 (**一遍**)は念仏の札を配ったり、踊りを取り入れたりして、**念仏の教え** (**時** 宗)を広めました。(**日蓮**)は法華経の題目「**南無妙法蓮華経**」を唱えれば、人も国も救われると説き (**日蓮** 宗)を開きました。

宋にわたった僧が、座禅によってさとりを開こうとする**禅宗**を伝えた。禅宗のうち、**栄西**は**臨済宗**を、(**道元**)は (**曹洞** 宗)を広め、**福井県**に (**永平** 寺)を開きました。

P74 13世紀のはじめ、(**チンギス・ハン**)が、ユーラシア大陸の東西にまたがる (**モンゴル帝国**)を建設しました。5代目皇帝となったその孫の (**フビライ・ハン**)は、国号を (**元**)と定め、高麗を従えた後、宋を滅ぼしました。



【フビライ・ハン】

P75 イタリア人の商人 (**マルコ・ポーロ**)は「**世界の記述 (東方見聞録)**」という書物の中で、日本を「**黄金の国ジパング**」としてヨーロッパに紹介しました。

P76 フビライ・ハンが日本を従えようと、使者を送ったが、鎌倉幕府の執権 (**北条時宗**)がこれを退けたため、元の軍勢が**2回にわたって日本を攻めました**。1274年の襲来を (**文永**)の役、



1281年の襲来を (**弘安**)の役といい、この**2つの襲来**を (**元寇**)といいます。

この時、日本軍が苦戦した理由は、元軍の (**火薬**)の使用と、(**集団戦法**)の2つがあげられます。

P77 「**分割相続**」が進み、領地が減り、生活が苦しくなった (**御家人**)を救うために、1297年に幕府は**借金帳消しの法令**を出しました。これを (**永仁の徳政令**)といいます。

P77 (**後醍醐**)天皇は、新興武士の**楠木正成**や (**足利尊氏**)らの協力を得て**1333年に鎌倉幕府をほろぼしました**。



【後醍醐天皇】【足利尊氏】

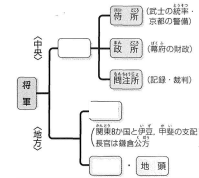
P78 鎌倉幕府がほろんだ後、**後醍醐天皇**は天皇中心の新しい政治を始めた。これを (**建武の新政**)といいます。しかし、武士の不満が高まり、これは2年ほどでくずれ、後醍醐天皇は吉野 (奈良県)へのがれ、(**足利尊氏**)は京都に (**室町**)幕府を開きました。このように朝廷が**吉野と京都の2つに分かれて争った動乱**の時代を (**南北朝**)時代といいます。

P79 足利（**義満**）が第3代将軍になるころ、**南北朝が統一**されました。室町幕府は、将軍の補佐役として（**管領**）を置き、鎌倉には地方機関として（**鎌倉府**）が置かれ、関東を支配しました。また、京都でお金の貸し付けなどを行っていた（**土倉**）や酒屋を保護するかわりに税を取り立てたりして収入を得ました。



P79 【室町幕府の仕組み】

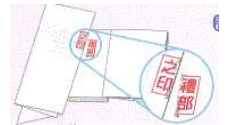
…（**管領**） ② …（**鎌倉府**） ③ …（**守護**）



P80 14世紀、中国では元がおとろえ、**漢民族**が（**明**）を建国し、モンゴル民族を北に追い出しました。

西日本では、**集団をつくって船をおそう**ような者があられ、この集団を（**倭寇**）と呼びます。これを取りしめるため、足利（**義満**）は、（**勘合**）という**証明書**をもたせ、貿易を始めた。これを（**日明**）貿易、または**勘合貿易**といいます。

この証明書を持たせた理由は（**正式な貿易船と倭寇とを区別する**）ためです。



P80 14世紀末に、**李成桂**が高麗をほろぼし（**朝鮮国**）を建てました。この国では（**ハングル**）という文字がつけられ、独自の文化が発展しました。

P81 15世のはじめに、（**尚**）氏が**沖縄島を統一**し、（**首里城**）を築き、（**琉球**）王国を建てました。



P81 13世紀以降、**蝦夷地**（北海道）では、（**アイヌ民族**）が狩りや漁、交易を行っていた。15世紀にこの民族の首長の（**コシャマイン**）が蜂起を起こしたが、和人（本州の人々）によって、おさえられました。

P82 交通の要所には、（**馬借**）や（**問**）と呼ばれる**運送業をかねた倉庫業者**が活動しました。



P83 （**土倉**）や**酒屋**などの**金融業者**、商人、手工業者は、同業者ごとに（**座**）と呼ばれる団体をつくり、営業を独占しました。

京都では自治をになった（**町衆**）と呼ばれる**裕福な商工業者**によって**祇園祭**が盛大に行われました。

農村では、（**惣**）と呼ばれる自治組織がつけられ、村のおきてなどを決めました。

P83 15世紀になると、農民は土倉や酒屋をおそって、**借金の帳消しを求め**る(^{つちいつき} **土一揆**)を起
こるようになりました。

P84 室町第8代将軍、足利(^{よしまさ} **義政**)のときに将軍のあとつぎをめぐって、**細川氏と山名氏が対
立し、1467年**に(^{おうにん} **応仁の乱**)が起きました。

P84 **京都市の南部**で、武士と農民が協力して守護大名を追いはいり自治を行いました。この一揆を
(^{やましろのくに} **山城国**)一揆といいます。

現在の**石川県**で、**浄土真宗の信徒**たちが守護大名をたおし100年間自治を行いました。
この一揆を(^{いつこう} **一向**)一揆といいます。

P85 応仁の乱以降、守護大名は力を強め(**戦国**)大名となり、城の周辺に家来や商工業者を集
め町をつくりました。この町を(**城下町**)といいます。また、(^{ぶんこくほう} **分国法**)と呼ばれる
独自の法令を定め、武士や領民を取りしまりました。

(**朝倉氏**)は(^{いちじょうだに} **一乗谷**)を本拠地として越前(福井)を統治していました。

このころ、大名や武士の間で、ある風潮があらわれ、**戦**が繰り返されました。この風潮を
(^{げこくじょう} **下剋上**)といいます。この風潮とはどのようなものか説明すると、
(**力のある者が上の身分の者に打ち勝つ**)風潮のことです。

P86 将軍足利(^{よしみつ} **義満**)は京都の別荘に(**金閣**)を建てました。このころに
栄えた、**貴族と武士の文化が混じり合った文化**を(**室町**)文化といいます。
(^{かんあみ} **観阿弥**)・^{ぜあみ} **世阿弥**親子は(^{のう} **能**)を大成し、幕府の保護を受けました。
また、人々が集まって、和歌の上の句と下の句をつぎつぎによむ(^{れんが} **連歌**)
も楽しまれました。



P87 15世紀後半からは、**より質素で落ち着いた文化**が発展しました。
将軍足利(^{よしまさ} **義政**)は京都の別荘に(**銀閣**)を建てました。
この将軍が建てた**東求堂同仁斎**などにみられる、**ふすま・たたみ・
床の間**などがある建築様式を(^{しよいんづくり} **書院造**)といいます。



中国で絵を学んだ(^{せつしゅう} **雪舟**)は、**墨一色で自然などを表現する**(^{すいぼくが} **水墨画**)
を日本で完成させました。



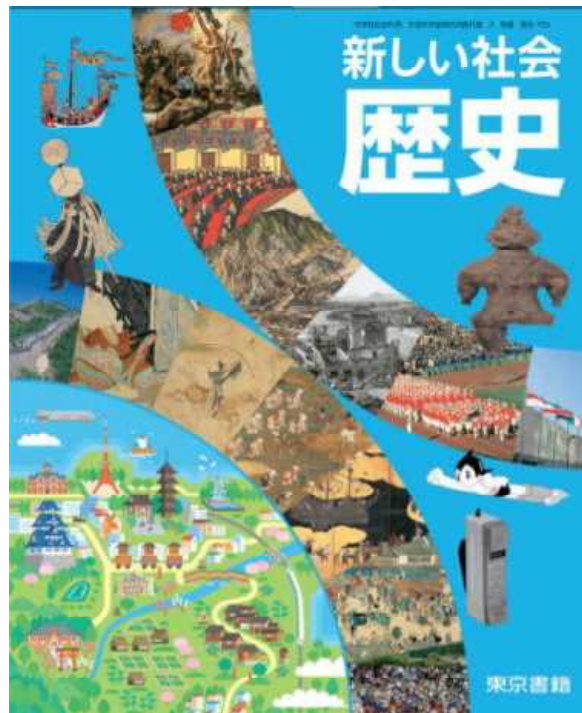
民衆の間にも文化が広まり、能の合間に(^{きようげん} **狂言**)という**喜劇**が演じられました。
また、「一寸法師」などの(^{おとぎぞうし} **御伽草子**)と呼ばれた**絵入りの物語**もさかんに読まれました。

必ずわかる・きっとできる

教科書ワーク

①年

歴史・教科書(P64~P87)



名前

Nakagawa **G**akushu **K**yoshitsu



- P64 10世紀になると()が成長し、天皇の警護や犯罪の取りしまりなどを担当するようになりました。
- P64 10世紀の中ごろになると、**北関東**で()が、**瀬戸内海地方**で()が朝廷の政治に不満を持ち、**大きな反乱**を起こしました。
- P65 ()氏は11世紀後半に東北地方で起きた**前九年合戦・後三年合戦**をしずめて**東日本で勢力を広げ**、()氏は12世紀前半に**西日本で勢力を広げました**。
また、**東北地方では平泉** (岩手県)を拠点に成長した()氏は北方との交易によって栄え、()を建てました。
- 

P66 11世紀末()天皇は**上皇**となってからも、摂政や関白をおさえて**政治を行いました**。この政治を()といいます。

P66 京都で1156年に()の乱、1159年に()の乱という2つの内乱がおり、この戦いに勝利した()は**太政大臣**の位につき、権力をふるうようになり、**兵庫(神戸市)の港**を整備し、中国の()と**貿易を行いました**。



P67 平氏の不満を持つ武士が諸国で兵をあげるなか、()は**鎌倉**を本拠地に定め、**関東を支配**した。そして弟の()などを派遣して、()【山口県】で**平氏を滅ぼしました**。



P68 源頼朝は1185年に、国ごとに()、荘園や公領ごとに()という職を置き()幕府)を開き、**武家政権**を立てました。

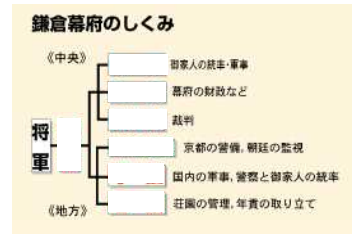
P68 将軍は配下の武士に領地を保護し、**新しい領地を与えた**。これを()という。また、武士は御家人として**将軍に忠誠**をちかいました。これを()といいます。

P69 **頼朝の死後**、()氏は将軍の力を弱めて()という地位につき**実権をにぎり**ました。

P69 鎌倉幕府の仕組み

< 地頭・政所・六波羅探題・執権・守護・問注所・侍所 >
 の中から適当なものを選び、() に書きなさい。

() () ()
 () () ()
 ()



P69 1221年に()上皇)が、朝廷の力を回復するために、**鎌倉幕府をたおそうとして兵をあげました**。このとき、頼朝の妻(**北条**)が鎌倉の武士にこれに対抗するようにうったえました。**幕府はこれに勝利し**、()上皇)を隠岐(島根県)に流しました。この事件を()といいます。この事件をきっかけに、幕府は()のために、京都に()という役所を置きました。

P69 1232年に執権の()は、**武士のための法律**である()を定め
 ました。

P70 武士は「()」や「**武士(もののふ)の道**」と呼ばれる、武芸の訓練にはげみ、武士らしい心構えが育ってきました。

P70 地頭と領主との間でたびたび争いが起こったことから、幕府は荘園領主と地頭が土地を2つに分けて、それぞれの土地の領有権を認めました。この政策を()といいます。



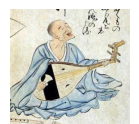
P71 鎌倉時代に農村では、同じ田畑で**米と麦を交互に作る**()が行われるようになり、寺社の門前や交通の便利なところには()が開かれ、**物品が売買されました**。

P72 武士が台頭するなか、鎌倉時代に新しい文化が生まれました。後鳥羽上皇の命令によりつくられた**藤原定家**や**西行**などの歌がおさめられた**歌集**を()といいます。

P72 宋から新しい建築様式が取り入れられ、**東大寺南大門**の両わきに、()が()を制作し安置されました。



P72 源平の争乱での武士の活躍をえがいた()などの**軍記物**が生まれ、これらは()によって語り伝えられました。**兼好法師**が随筆集の()で生き生きとした民衆の姿を取り上げました。



P73 ()は「**南無阿弥陀仏**」と念仏を唱えれば、**極楽浄土**に生まれ変わると説いて ()宗を開き、その弟子の ()は ()宗を開きました。

P73 ()は念仏の札を配ったり、踊りを取り入れたりして、**念仏の教え** ()宗を広めました。()は法華経の題目「**南無妙法蓮華経**」を唱えれば、人も国も救われると説き ()宗を開きました。

宋にわたった僧が、座禅によってさとりを開こうとする**禅宗**を伝えた。禅宗のうち、**栄西は臨済宗**を、()は ()宗を広め、**福井県**に ()寺を開きました。

P74 13世紀のはじめ、()が、ユーラシア大陸の東西にまたがる ()を建設しました。5代目皇帝となったその孫の ()は、国号を ()と定め、高麗を従えた後、宋を滅ぼしました。



P75 イタリア人の商人 ()は「**世界の記述 (東方見聞録)**」という書物の中で、日本を「**黄金の国ジパング**」としてヨーロッパに紹介しました。

P76 フビライ・ハンが日本を従えようと、使者を送ったが、鎌倉幕府の執権 ()がこれを退けたため、元の軍勢が**2回に**

わたって日本を攻めました。1274年の襲来を ()の役、

1281年の襲来を ()の役といい、この**2つの襲来**を ()といいます。

この時、日本軍が苦戦した理由は、元軍の ()の使用と、()の2つがあげられます。



P77 「**分割相続**」が進み、領地が減り、生活が苦しくなった ()を救うために、1297年に幕府は**借金帳消しの法令**を出しました。これを ()といいます。

P77 ()天皇は、新興武士の**楠木正成**や ()らの協力を得て**1333年に鎌倉幕府をほろぼしました**。



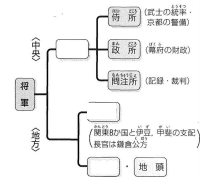
P78 鎌倉幕府がほろんだ後、**後醍醐天皇**は天皇中心の新しい政治を始めた。これを ()といいます。しかし、武士の不満が高まり、これは2年ほどでくずれ、後醍醐天皇は吉野 (奈良県) へのがれ、()は京都に ()幕府を開きました。このように朝廷が**吉野と京都の2つに分かれて争った動乱**の時代を ()時代といいます。

P79 足利 () が第3代将軍になるころ、**南北朝が統一**されました。室町幕府は、将軍の補佐役として () を置き、鎌倉には地方機関として () が置かれ、関東を支配しました。また、京都でお金の貸し付けなどを行っていた () や酒屋を保護するかわりに税を取り立てたりして収入を得ました。



P79 【室町幕府の仕組み】

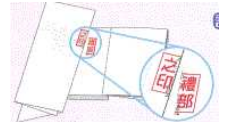
… () ② … () ③ … ()



P80 14世紀、中国では元がおとろえ、**漢民族**が () を建国し、モンゴル民族を北に追い出しました。

西日本では、**集団をつくって船をおそう**ような者があられ、この集団を () と呼びます。これを取りしめるため、足利 () は、 () **という証明書**をもたせ、貿易を始めた。これを () 貿易、または**勘合貿易**といいます。

この証明書を持たせた理由は () ためです。



P80 14世紀末に、**李成柱**が高麗をほろぼし (**国**) を建てました。この国では () という文字がつくられ、独自の文化が発展しました。

P81 15世のはじめに、 () 氏が**沖縄島を統一**し、 (**城**) を築き、 () 王国を建てました。



P81 13世紀以降、**蝦夷地** (北海道) では、 (**民族**) が狩りや漁、交易を行っていた。15世紀にこの民族の首長の () が蜂起を起こしたが、和人 (本州の人々) によって、おさえられました。

P82 交通の要所には、 () や () と呼ばれる**運送業をかねた倉庫業者**が活動しました。



P83 () や**酒屋**などの**金融業者**、商人、手工業者は、同業者ごとに () と呼ばれる団体をつくり、営業を独占しました。

京都では自治をになった () と呼ばれる**裕福な商工業者**によって**祇園祭**が盛大に行われました。

農村では、 () と呼ばれる自治組織がつくられ、村のおきてなどを決めました。

P83 15世紀になると、農民は土倉や酒屋をおそって、**借金の帳消しを求める**()を起るようになりました。

P84 室町第8代将軍、足利()のときに将軍のあとつぎをめぐって、**細川氏と山名氏が対立し、1467年**に()が起りました。

P84 **京都市の南部**で、武士と農民が協力して守護大名を追いはらい自治を行いました。この一揆を()一揆といいます。

現在の**石川県**で、**浄土真宗の信徒**たちが守護大名をたおし100年間自治を行いました。この一揆を()一揆といいます。

P85 応仁の乱以降、守護大名は力を強め()大名となり、城の周辺に家来や商工業者を集め町をつくりました。この町を()といいます。また、()と呼ばれる**独自の法令**を定め、武士や領民を取りしまりました。

(**氏**)は()を本拠地として越前(福井)を統治していました。

このころ、大名や武士の間で、ある風潮があらわれ、^{いくさ}戦が繰り返されました。この風潮を()といいます。この風潮とはどのようなものか説明すると、()風潮のことです。

P86 将軍足利()は京都の別荘に()を建てました。このころに栄えた、**貴族と武士の文化が混じり合った文化**を()文化といいます。()・^{せあみ}世阿弥親子は()を大成し、幕府の保護を受けました。また、人々が集まって、和歌の上の句と下の句をつぎつぎによむ()も楽しまれました。



P87 15世紀後半からは、**より質素で落ち着いた文化**が発展しました。将軍足利()は京都の別荘に()を建てました。この将軍が建てた^{とうぐどうどうじんさい}東求堂同仁齋などにみられる、**ふすま・たたみ・床の間**などがある建築様式を()といいます。



中国で絵を学んだ()は、**墨一色で自然などを表現する**()を日本で完成させました。

民衆の間にも文化が広まり、能の合間に()という**喜劇**が演じられました。また、「一寸法師」などの()と呼ばれた**絵入りの物語**もさかんに読まれました。